

家 庭

2年

家庭基礎

3年

持続可能な社会(エコライフ)

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース1クラス		家庭	家庭基礎	必修	2単位	森谷多紀子
教科書	実教出版「新家庭基礎」		副教材			
授業のねらい	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子供、高齢者そして社会のかかわりについて理解する。生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身につけます。					
学習上の留意点	授業をよく聞いてノートを取ること 課題が課されたらすべてやりきり期限内に提出すること					
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、課題、提出物、実習作品・レポート、プレゼンテーション、授業態度を総合的に評価					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	第1編人とかかわって生きる 第1章自分らしい生き方と家族		ライフステージごとの特徴・課題を理解する 男女が協力して生きていける社会について考え、これから先に生涯を見通した学習をする 結婚・家族・家庭の意義や機能について理解する 現在の家族の抱える課題を理解する 家族に関する法律を知る労働の意義について学び現在の課題について理解する		
	5月					
	6月	第2編生活をつくる 第1章食生活をつくる		私たちの食生活の現状や課題について知り、考える 栄養について基礎的な知識を身につける 調理に関して基礎的な技術を身につけ、 食事マナーを知り楽しく食事ができるようにする 環境を考えた食生活について考え、実践する		
	7月	第2章衣生活をつくる		衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解する		
2 学 期	9月	第2章子どもとかかわる		こどもの誕生、心身の発達と特徴について知る 子どもの生活や遊びについて理解を深める 子どもの発達と子供の取り巻く環境とのかかわりについて学ぶ		
	10月	第3章高齢者とかかわる		高齢社会の現状と課題について理解する		
	11月	第4章社会とかかわる		社会保障制度について理解をする		
	12月	第4章住生活をつくる		計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解する 基礎的な補修の技術を習得する 住まいの機能、住まいの文化などを理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする		
3 学 期	1月	第3編消費者として自立する 第1章消費者行動を考える		健康で快適な住空間とは何かを知り実践する 安全な住まいについて考え実践する 消費者行動において、意思決定のプロセスを理解する 契約や多様な販売・支払方法、問題商法を理解する 消費者において自主的に行動することの必要性を理解する		
	2月					
	3月	第2章経済的に自立する		家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス		家庭	家庭基礎	必修	2単位	森谷多紀子
教科書	実教出版「新家庭基礎」		副教材	実教出版「新家庭基礎学習ノート」		
授業のねらい	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子供、高齢者そして社会のかかわりについて理解する。生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身につけます。					
学習上の留意点	授業をよく聞いてノートを取ること 課題が課されたらすべてやりきり期限内に提出すること					
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、課題、提出物、実習作品・レポート、プレゼンテーション、授業態度を総合的に評価					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	第1編人とかかわって生きる 第1章自分らしい生き方と家族		ライフステージごとの特徴・課題を理解する 男女が協力して生きていける社会について考え、これから先に生涯を見通した学習をする 結婚・家族・家庭の意義や機能について理解する 現在の家族の抱える課題を理解する 家族に関する法律を知る労働の意義について学び現在の課題について理解する		
	5月					
	6月	第2章子どもとかかわる		こどもの誕生、心身の発達と特徴について知る 子どもの生活や遊びについて理解を深める 子どもの発達と子供の取り巻く環境とのかかわりについて学ぶ		
	7月	第3章高齢者とかかわる 第4章社会とかかわる		高齢社会の現状と課題について理解する 社会保障制度について理解をする		
2 学 期	9月	第2編生活をつくる 第1章食生活をつくる		私たちの食生活の現状や課題について知り、考える 栄養について基礎的な知識を身につける 調理に関して基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り楽しく食事ができるようにする 環境を考えた食生活について考え、実践する		
	10月	第2章衣生活をつくる		衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解する		
	11月			計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解する 基礎的な補修の技術を習得する		
	12月	第4章住生活をつくる		住まいの機能、住まいの文化などを理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする		
3 学 期	1月	第3編消費者として自立する 第1章消費者行動を考える		健康で快適な住空間とは何かを知り実践する 安全な住まいについて考え実践する 消費者行動において、意思決定のプロセスを理解する 契約や多様な販売・支払方法、問題商法を理解する 消費者において自主的に行動することの必要性を理解する		
	2月					
	3月	第2章経済的に自立する		家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解をする		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		家庭	家庭基礎	必修	2単位	新美優香・森谷多紀子
教科書	実教出版「新家庭基礎」		副教材	実教出版「新家庭基礎学習ノート」		
授業のねらい	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子供、高齢者そして社会のかかわりについて理解する。生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身につけます。					
学習上の留意点	授業をよく聞いてノートを取ること 課題が課されたらすべてやりきり期限内に提出すること					
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、課題、提出物、実習作品・レポート、プレゼンテーション、授業態度を総合的に評価					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	第1編人とかかわって生きる 第1章自分らしい生き方と家族		ライフステージごとの特徴・課題を理解する 男女が協力して生きていける社会について考え、これから先に生涯を見通した学習をする 結婚・家族・家庭の意義や機能について理解する 現在の家族の抱える課題を理解する 家族に関する法律を知る労働の意義について学び現在の課題について理解する		
	5月					
	6月	第2章子どもとかかわる		こどもの誕生、心身の発達と特徴について知る 子どもの生活や遊びについて理解を深める 子どもの発達と子供の取り巻く環境とのかかわりについて学ぶ		
	7月	第3章高齢者とかかわる 第4章社会とかかわる		高齢社会の現状と課題について理解する 社会保障制度について理解をする		
2 学 期	9月	第2編生活をつくる 第1章食生活をつくる		私たちの食生活の現状や課題について知り、考える 栄養について基礎的な知識を身につける 調理に関して基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り楽しく食事ができるようにする環境を考えた食生活について考え、実践する		
	10月	第2章衣生活をつくる		衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解する		
	11月			計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解する 基礎的な補修の技術を習得する		
	12月	第4章住生活をつくる		住まいの機能、住まいの文化などを理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする		
3 学 期	1月	第3編消費者として自立する 第1章消費者行動を考える		健康で快適な住空間とは何かを知り実践する 安全な住まいについて考え実践する 消費者行動において、意思決定のプロセスを理解する 契約や多様な販売・支払方法、問題商法を理解する 消費者において自主的に行動することの必要性を理解する		
	2月					
	3月	第2章経済的に自立する		家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解をする		

2022年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス	家庭	持続可能な社会(エコライフ)	選択	2単位	森谷多紀子
教科書	プリントを使用する		副教材		
授業のねらい	現在なぜ持続可能な社会が求められているかを知り、環境に優しい生活を考えながら快適に暮らすにはどのような工夫が必要かを家庭的視点から考え、理論・知識・技術を習得する				
学習上の留意点	作品制作は個人・プレゼンテーション・実習などはグループで行う				
評価方法	各学期ごとの課題・プレゼンテーション・小テスト				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元	学習目標			
1 学 期	4月	家庭的観点から見る持続可能な社会とは何か	地球環境を考えて人とともに生きる総合的な問題解決力を養う		
	5月	衣と環境について考える	衣生活が、資源や環境問題とどのようなかかわりがあるかを知り、考える		
	6月	古着の再利用	着なくなった服にはどのようなものがあるか調べ、その服をリフォームする		
	7月	住まいと環境について考える	住居における持続可能性について知り、考える		
2 学 期	9月	食と環境	・食品ロス、家庭の台所のごみの内訳、食品廃棄物の再利用などについて問題解決能力を付ける		
	10月				
	11月	エコ・クッキング	・エコ・クッキングの実践・小テスト		
	12月				
3 学 期	1月				
	2月				
	3月				